

地域振興局長からの提案、意見等の予算への反映状況について (令和3年度当初予算要求時点)

※ 予算要求段階での状況を取りまとめたものであり、今後の予算編成等における検討により内容が変わる可能性があります。

1 提案等の概要

(1) 事業提案

主たる効果を当該地域に発現させるため、複数の事業を地域の日線から一体的に実施する提案

提案件数: 24 件 新たなパッケージ化を提案 10 件 (うち、共同提案 2 件)

既存のパッケージを拡充 14 件

(2) 現行事業への意見、要望

各部局が実施している現行事業に対する改善意見・要望

意見・要望件数: 14 件 事業の改善・充実 7 件

事業対象の拡大 7 件

2 予算への反映状況（要求概要）

(1) 事業提案

※ 提案概要欄の◇印の事業は、既存の事業・予算（地域振興局長裁量経費を含む）をパッケージに組み入れるものです

地域振興局	提案項目	提案概要	主な対応(要求事業等)	担当部局
佐久	アフターコロナを見据えた佐久地域への移住・定住・つながり人口の増加～地方回帰を追い風に～	<p>都会の密を避け地方で暮らす機運の高まりを捉え、佐久地域への移住・定住・つながり人口の更なる増加を目指し、暮らしの基本「移・職・食・住」に関する施策を総合的・一体的に展開する。</p> <p>(パッケージの内容) 【新】 公共交通による移動支援(地域公共交通会議へのアドバイザー派遣) …① ◇ テレワーク・ワーケーション等、新たな働き方に対応した移住セミナー ◇ 日本酒をはじめとする佐久地域の食の魅力発信 ◇ 移住者の住居としての空き家利用・活用の研究 等</p>	<p>① 次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <p>・バス等振興対策事業費 (多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業) 737千円</p>	企画振興部 産業労働部 建設部
上田	農業資産(棚田、ため池、疎水)の魅力を活かした地域の活性化	<p>「稲倉の棚田」を有する地域が棚田地域振興法に基づく指定棚田地域に指定されたこと(R2)、全国的イベント「ため池フォーラム信州 in 上田」の開催(R3)を契機に、農業資産の保全と農業資産を活かした地域の活性化を図るため、活動団体の取組に対する支援を強化する。</p> <p>(パッケージの内容) 【新】 指定棚田地域の保全活動への助成 …① 【新】 指定棚田地域の棚田の多面的機能の維持・強化を図る基盤整備への助成 …② ◇ 棚田の保全活動に必要な人材確保への助成 ◇ 農業資産の魅力発信 等</p>	<p>① 次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <p>・農業農村の基盤整備事業 (ふるさと信州棚田支援事業) 2,100千円</p> <p>② 農山漁村振興交付金で対応できるよう、国に対して交付条件の緩和を要望しています。</p>	農政部
上田	AIを活用した移住・交流の促進	<p>地方への移住に対する興味・関心を「長野県への移住」に確実につなげるため、既存の移住セミナー・相談会の開催や移住支援金等による支援に加え、市町村と共同でチャットボットを導入し、移住促進の取組を強化する。(長野県DX戦略における「スマート自治体推進PJ」)</p> <p>(パッケージの内容) 【新】 移住相談に関するチャットボットの導入 …① ◇ 移住セミナー・相談会の開催等 ◇ UIターンによる県内移住者への就業・創業支援 ◇ 農業未経験の移住希望者への農ある暮らしの支援 ◇ 管内市町村との共同によるオンライン移住セミナーの開催</p>	<p>① 移住相談は、広く住民生活に関連する情報を提供する必要があることから、チャットボットの導入にあたっては市町村と連携しながら検討します。</p>	企画振興部 産業労働部 農政部

地域 振興局	提案項目	提案概要	主な対応(要求事業等)	担当 部局
諏訪	諏訪湖を活かしたまちづくり(諏訪湖創生ビジョンの推進)	<p>諏訪湖の水環境保全を統合的に推進し、湖辺面活用・まちづくりと一体的に進め、「泳ぎたくなる諏訪湖」「シジミが採れる諏訪湖」「誰もが訪れたいくなる諏訪湖」の実現をめざす。</p> <p>(パッケージの内容)</p> <p>【新】 諏訪湖環境研究センター(仮称)の整備 …①</p> <p>【新】 諏訪湖の歴史、環境、魅力等を伝える映像の制作 …②</p> <p>【新】 諏訪湖の案内人(仮称)の養成 …③</p> <p>【拡】 「諏訪湖の日」の周知 …④</p> <p>【新】 諏訪湖流域資源の循環普及 …⑤</p> <p>◇ 諏訪湖の環境改善</p> <p>◇ 諏訪湖の水辺整備推進</p> <p>◇ 諏訪湖周サイクリングロードの整備 等</p>	<p>次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <p>① 諏訪湖環境研究センター(仮称)整備事業 55,013 千円</p> <p>②～⑤ 諏訪湖創生ビジョン推進事業 39,947 千円</p>	環境部 農政部 林務部 建設部
諏訪	八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域づくりの推進	<p>八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域の活力を創出するため、特色ある観光素材の広域展開や地域の生態系・景観の保全等を一体的に推進する。</p> <p>(パッケージの内容)</p> <p>◇ 八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力を活かした地域づくりに向けたタウンミーティングの開催</p> <p>◇ 観光パンフレット・マップ等のデジタルライブラリー化</p> <p>◇ 日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」のブランド力強化</p> <p>◇ 八ヶ岳周辺道路ビュースポット掘り起こし・発信</p> <p>◇ ビーナスライン沿線の森林整備支援</p> <p>◇ 霧ヶ峰自然保護センターのエコツーリズムの拠点としての機能強化 等</p>	(既存事業及び地域振興局長裁量経費で対応予定)	環境部 林務部 建設部 教育委員会
上伊那	南信工科短大ブランド戦略策定・PR事業	<p>「ものづくりのスペシャリスト」を育てる短期大学校としてブランドを確立するとともに、学生生活への支援を整えることで、学生を確保し、地域の期待に応える人材育成の充実を図る。</p> <p>(パッケージの内容)</p> <p>【新】 南信工科短大ブランド戦略の策定・PR …①</p> <p>・高校生や保護者に短大の魅力をもつため、専門家や女性社員、女子高生等の意見を交えて広報戦略を策定</p> <p>・高校のクラス単位でのキャンパス見学会及び女子中高生の理工系進路を支援する交流会の開催</p> <p>◇ グローバルなものづくりの現場に学ぶため、学生を海外の事業所等に短期派遣し、視察・研修を実施</p>	<p>① 次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <p>・南信工科短大ブランド戦略策定・PR 事業 2,800 千円</p>	県民文化部 産業労働部

地域 振興局	提案項目	提案概要	主な対応(要求事業等)	担当 部局
上伊那 南信州 木曾	3地域(上伊那・南 信州・木曾)の広 域観光の推進	<p>リニア中央新幹線の開通に向け、3地域の観光資源を磨き上げ観光消費額を増やすため、3地域が連携し、周遊滞在型コンテンツづくり及び受入環境整備の強化を図る。</p> <p>(パッケージの内容) 【新】 3地域の観光資源の分析及びデジタルマーケティング調査 …① ◇ 3地域周遊ツアー造成</p>	<p>①次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <p>・観光地域づくり推進事業 (専門人材の配置) 35,270 千円 (デジタルマーケティング分析・調査) 4,412 千円</p>	観光部
上伊那 南信州 木曾	リニア中央新幹線 を基軸とした広域 公共交通ネットワ ークの構築	<p>リニアの整備効果を県内に波及させるため、3地域の交通事業者等と行政が連携して実効性のある広域公共交通ネットワークの構築に取り組む。</p> <p>(パッケージの内容) 【新】 リニア長野県駅からの一定距離マップの作成 …① 【新】 3地域を網羅した公共交通路線図(現況)の作成 …② 【新】 地域公共交通カルテの作成 …③ 等</p>	<p>次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <p>①リニア中央新幹線活用地域振興事業 7,130 千円 ②③バス等振興対策事業費 (地域公共交通最適化推進事業) 14,157 千円</p>	企画振興部 建設部
南信州	「南信州」を味わえ る「食」の提供	<p>「南信州らしい食」を提供するため、講座の開催等に対する支援、地消地産システム構築のための体制整備への支援等に取り組む。</p> <p>(パッケージの内容) 【新】 ウェルカム南信州！ 地域食材でおもてなし …① 【新】 地消地産システム構築支援 …②</p>	<p>①次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <p>・「信州の食」ブランド価値向上事業 996 千円</p> <p>②地域内流通体制の整備については、他地域での取組状況を情報提供します。なお、ハード整備については、事業の採算性や継続性などを含めて十分に事業内容を検討していく必要があると考えます。</p>	産業労働部 観光部 農政部

地域 振興局	提案項目	提案概要	主な対応(要求事業等)	担当 部局
南信州	航空機産業の振興	<p>分散している県内の航空機産業に係る支援機関を統括し、連携を図るため、戦略的統括拠点及びクラスターマネージャーを配置する。 産業振興と人材育成の拠点施設「エス・バード」の環境試験機器の利便性を向上させ、利用促進を図るため、試験部門長等を設置する。</p> <p>(パッケージの内容) 【新】 戦略的統括拠点の設置 …① ・「エス・バード」を県航空機産業の戦略的統括拠点とし、県直轄の専門部署を設置 ・統括拠点に航空機産業の専門知識を有するクラスターマネージャーを配置し、関係機関の統括と情報を共有 【新】 飯田工業技術試験研究所へ航空機環境評価試験の試験部門長及び専任オペレータ(工業技術総合センター職員)を配置 …②</p>	<p>次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <p>①②航空機産業振興事業(航空機産業振興戦略的統括拠点整備事業) ・クラスターマネージャー(仮称)の配置 9,456千円 ・試験部門長配置経費の一部補助 2,700千円</p>	産業労働部
南信州	シードルの振興	<p>シードル生産事業者等と連携し、生産の基礎的な部分である品種と醸造後のシードルとの相関関係や味覚の分析等を行い、その結果を地域で共有し品質向上を図る。 味覚の分析結果を基に、各シードルの特徴を見える化し、効果的な情報発信を行い、販売促進に繋げる。 『シードルの産地“南信州”』をめざし、南信州地域が先駆者としてシードル振興に取り組むことで、全県へ波及させる。</p> <p>(パッケージの内容) 【新】 シードルの情報発信の推進 …① 【拡】 品質向上及び新規参入促進のための調査研究 …② ・生産における原料りんごの省力化栽培技術の検討 ◇ シードルツーリズムの推進</p>	<p>①現状の「NAGANO WINE 公式サイト」の中で引き続き対応します。</p> <p>②次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。 ・信州地酒振興事業 (ワイン・シードル醸造技術支援事業) 849千円 ・原料りんごの省力化栽培技術の検討については、試験場と専門技術員が連携して協力していきます。</p>	産業労働部 農政部
南信州	ウイズコロナ・アフターコロナへの取組(民俗芸能支援)	<p>民俗芸能の火を消さないよう、民俗芸能団体及び継承支援団体のウイズコロナ・アフターコロナに対応するための取組を支援する。</p> <p>(パッケージの内容) 【新】 インターネットを活用した動画配信と寄付金募集 …① 【新】 アドバイザーの派遣 …② ◇ ケーブルテレビを活用した地元への啓発</p>	<p>①指定文化財にあつては、文化財修理・防災事業により映像作成などを支援します。</p> <p>②市町村担当者会議などにおいてコロナ対応の研修を行うなど、対応に関する情報を提供します。</p>	教育委員会

地域 振興局	提案項目	提案概要	主な対応（要求事業等）	担当 部局
南信州	ウィズコロナ・アフターコロナへの取組（観光農園のチャレンジ支援）	<p>新型コロナウイルス感染症も含めた農業経営のリスク分散を促すため、オンライン果物狩り等の実現を目指す農業者向けの研修会を開催するとともに、新たな取組にチャレンジする農業者等に対し、必要な機材の導入等販路開拓に要する経費の一部を補助する。</p> <p>（パッケージの内容）</p> <p>【新】 観光農園経営多角化支援 …①</p> <p>【拡】 ヴァーチャル観光農園推進 …②</p>	<p>①経営多角化に取り組む農業者が活用できる補助金や融資制度等、必要に応じた情報提供を行います。</p> <p>②観光農園化による営業力の強化を目指す農業者に対しては、営業本部が実施する講座や研修会等に積極的に参加していただくよう周知していきます。</p>	産業労働部 農政部
木曾	木曾地域の観光振興	<p>日本遺産に認定されている木曾路の地域資源（歴史、地域文化、自然景観）を活かした観光振興を進める。</p> <p>また、更なる観光振興のために、噴火災害の経験を後世に引き継ぐとともに新たな観光拠点となるべき御嶽山ビジターセンターの開館準備、リニア中央新幹線開業後を見据えた広域観光ルート検討を進める。</p> <p>（パッケージの内容）</p> <p>【拡】 御嶽山ビジターセンター開館に向けての魅力向上策の検討 …①</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 星空を活かした観光資源開発 ◇ 日本遺産を活かした木曾の魅力発信 ◇ サイクルツーリズムの推進 ◇ 固有食材（すんき・そば等）のブランディングによる販路拡大 	<p>①次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御嶽山ビジターセンター整備事業 ＜危機管理部分＞ 104,832 千円 ＜環境部分＞ 614,005 千円 	危機管理部 環境部
木曾	地域防災力・減災力の強化	<p>近年の台風、豪雨災害の経験を活かした交通網整備により地域防災力・減災力の強化を図る。また、御嶽山に関しては、安全な登山施設整備、火山マイスターの育成及び活動フィールドの拡大により、安全で魅力ある山となることを目指す</p> <p>（パッケージの内容）</p> <p>【拡】 御嶽山ビジターセンターの整備と併せた火山研究施設と火山マイスター活動拠点の充実 …①</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 木曾川右岸道路整備等による交通網の強化 ◇ 河川監視カメラによる水位情報の住民等への発信 ◇ 安全・安心な登山に向けた環境整備 ◇ 地域人材の育成、安全意識の啓発 等 	<p>①次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御嶽山ビジターセンター整備事業 ＜危機管理部分＞ 104,832 千円 	危機管理部 環境部 建設部

地域 振興局	提案項目	提案概要	主な対応（要求事業等）	担当 部局
木曾	広域連携の推進	<p>H30～R3 年度を計画期間としている「木曾広域自立圏連携ビジョン」による広域的な取組を推進する。</p> <p>（パッケージの内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 移住交流の推進 ◇ 広域観光の推進 ◇ 地域の「足」の確保 ◇ 共同実施によるスケールメリットの活用 	(既存事業及び地域振興局長裁量経費で対応予定)	企画振興部
木曾	森林・林業の振興	<p>木曾地域の基幹産業である林業・木材産業の高付加価値化を目指し、木曾産のヒノキ及びカラマツのブランド力向上に取り組むとともに、長野県林業大学校等の人材育成機関と連携し、木曾地域の林業・木材産業人材の確保と定着を推進する。</p> <p>また、健全な森林資源を育成するため、令和2年度に大発生したナラ枯れの原因であるカシノナガキクイムシの対策を強化する。</p> <p>（パッケージの内容）</p> <p>【拡】カシノナガキクイムシの防除対策と被害木の利活用促進 …①</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 製材等施設、木材輸送施設の整備支援 ◇ 木曾産ヒノキ・カラマツのブランド化(強度等の検証)の支援 ◇ 林業大学校、木曾青峰高校等との連携による林業等人材の育成・確保 	<p>①次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広葉樹等枯損対策事業 13,575 千円 ・森林病虫害被害枯損木利活用(チップ化)事業 100,000 千円 	林務部
松本	信州まつもと空港の利用促進と空港を活用した観光地域づくり	<p>「信州まつもと空港の発展・国際化に向けた取組方針」にある「観光・賑わいの拠点」としての活用推進及び、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいる利用状況の向上を図るため、利用者にとって満足度の高い二次交通の推進や空港利用PRを積極的に行うとともに、空港施設や周辺の整備を実施する。</p> <p>（パッケージの内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ レンタカー利用促進キャンペーン ◇ 空港利用促進等のPR ◇ ワインバレーの魅力発信 ◇ 貸切観光タクシーのプロモーション ◇ 空港周辺道路・関連広域道路、道路維持修繕・沿道美化、河川内立木伐採等の環境整備 ◇ 松本平広域公園の整備 	(既存事業及び地域振興局長裁量経費で対応予定)	企画振興部 産業労働部 建設部

地域 振興局	提案項目	提案概要	主な対応（要求事業等）	担当 部局
松本	上高地へ訪れる観光客の満足度向上対策	<p>利用者の安全の確保と満足度の向上を図るため、的確な情報発信や観光客が利用する施設の整備、河床上昇対策などを一体的に行う。</p> <p>(パッケージの内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 上高地の防災啓発 ◇ 遊歩道の補修 ◇ 公衆トイレの改修への支援 ◇ 梓川の河床上昇対策 	(既存事業及び地域振興局長裁量経費で対応予定)	環境部 建設部
松本	中山間地域の魅力向上	<p>中山間地域における人口減少に歯止めをかけるため、3市5村一体となった広域的な移住促進や、関係者が一体となって地域ぐるみで安心して農作物を生産できる産地づくりを進める。</p> <p>(パッケージの内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 農作物を守る安全安心産地づくり推進 ◇ 信州まつもと広域圏まるごと移住支援 ◇ 地域共同集配システムによる地産地消推進 	(地域振興局長裁量経費で対応予定)	企画振興部 農政部

地域 振興局	提案項目	提案概要	主な対応（要求事業等）	担当 部局
北アルプ ス	コロナ時代におい ても選ばれる安 心・安全な山岳観 光地域づくりの推 進	<p>世界標準の RE100 リゾートの取組を進め、持続可能な山岳観光地域づくりを推進し、「安心・安全な観光」を確立・発信することで、コロナ時代においても選ばれる観光地域を目指す。</p> <p>(パッケージの内容)</p> <p>【新】 広域型 DMO (HVT) の取組支援 …①</p> <p>【新】 世界標準の RE100 リゾート推進 …②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候危機突破×スマート農業プロジェクト(小水力発電活用と取水ゲート電動化) <p>【新】 リゾートテレワークの推進 …③</p> <p>【拡】 安心安全な地域づくりのための登山道の整備 …④ 等</p>	<p>① 次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HAKUBA VALLEY における観光地域づくり 重点支援事業 22,000 千円 <p>② 次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギー地域発電推進事業 181,000 千円 ・小水力ポテンシャル見える化事業 5,016 千円 ・再生可能エネルギー中間支援事業 3,661 千円 <p>② 農業用水を活用した小水力発電に係る国庫補助事業の事業採択に取り組みます。</p> <p>③ 次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リゾートテレワーク推進事業 10,890 千円 <p>④ 次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと信州寄付金等活用山岳環境保全事業 26,949 千円 	健康福祉部 環境部 産業労働部 観光部 農政部 建設部

地域 振興局	提案項目	提案概要	主な対応（要求事業等）	担当 部局
長野	「信州ストーリー」を活用した広域観光の推進事業	<p>ポストコロナ時代を見据え、価値観や行動の変容を的確に捉えた新たな需要（意識の変化）や、善光寺御開帳、諏訪大社御柱祭、県内4つの日本遺産等の連携による体験・交流の機会を創出する「信州ストーリー」に対応した広域観光地域づくりを推進する。</p> <p>（パッケージの内容）</p> <p>【新】圏域を越えた広域観光の推進 …①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・善光寺御開帳と諏訪大社御柱祭、日本遺産を柱としたツアー造成やサイクルツーリズムによる広域観光の推進等、新たな観光を創出 <p>◇ 学びツーリズム（体験と交流による広域観光）の推進 等</p>	<p>① 次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しあわせ信州観光キャンペーン事業 30,000 千円 	産業労働部 観光部
長野	「ニューライフ信州」応援プロジェクト～「働く×遊ぶ×暮らす」を軸とした交流増・移住定住の推進～	<p>リゾートテレワーク等について一層の推進を図るとともに、新規就農者支援や「信州らしさ」のある「働き方・遊び（観光）」の提案により、地域の魅力をPRすることで、長野県への交流増や移住・定住の推進を図る。</p> <p>（パッケージの内容）</p> <p>【新】リゾートテレワーク利用促進（「働く×遊ぶ」による交流人口増） …①</p> <p>【新】「信州ストーリー」等を活用したサイクルツーリズムによる広域観光推進事業 …②</p> <p>【新】新規就農者支援を軸とした移住定住の促進（「働く×暮らす」による移住定住増） …③</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 新規就農者への支援 ◇ 長野地域への移住・二地域居住推進 	<p>① 次の事業の中で対応できるよう予算要求しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リゾートテレワーク推進事業 10,890 千円 ・信州リゾートテレワーク戦略的営業力強化事業 15,000 千円 <p>② 自転車走行空間の整備について、県単独公共事業での対応を検討します。</p> <p>③ 提案の趣旨も参考に、農業分野を含め人手不足分野への就労支援について検討します。</p>	産業労働部 観光部 農政部 建設部

地域 振興局	提案項目	提案概要	主な対応（要求事業等）	担当 部局
北信	サイクルツーリズム振興支援事業	<p>各地でサイクルツーリズムの振興に向け、地域に合わせて多様な観光客のニーズに対応したモデルコースの設定やレンタサイクルシステムの構築等のソフト・ハードの整備を進めるとともに、県外への効果的な広報を一体的に展開し、広域的な周遊観光地づくりを促進する。</p> <p>(パッケージの内容)</p> <p>【新】サイクルツーリズム広域観光プロモーション …①</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ サイクルツーリズム地域連携コース検討 ◇ レンタサイクルシステム構築 ◇ サイクルロード環境整備 	<p>①次の事業の中で商品造成等の予算を要求していることから、当該事業の進捗状況を勘案しつつ検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Japan Alps Cycling ブランド構築事業 4,400 千円 	観光部

(2) 現行事業への意見、要望

■ 事業の改善・充実を図る意見等

地域 振興局	現行事業名	現行事業の概要	意見・要望の内容	部局の主な対応	担当 部局
上伊那	南信工科短期大学 校学生教育事業	優秀な学生の確保、学生の知識の修得及び円滑な就職活動の促進を図る。	<p>通学困難な地域からの学生募集を促進するため、アパートに入居する学生の家賃の一部を県が補助する制度について、以下の観点から研究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の職業能力開発施設の状況（寮の有無、家賃補助の有無、金額等） ・技術専門校及び工科短大の訓練生で、寮に入れず自らアパートを借りている学生との均衡 	<p>アパートに入居する学生の家賃の一部を県が補助する制度について研究するため、調査結果をもとに制度を研究します。</p> <p>今年度中に以下の調査の実施を予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の職業能力開発施設の寄宿舍等の状況（寮の有無、家賃補助の有無、金額等） ・技専及び工科短大の訓練生で、寮に入れず自らアパートを借りている学生の状況 	産業労働部
南信州	プラスチックごみ 対策の推進事業	<p>県内及び各水系の地域や河口域と共同してのごみ拾いや相互交流の実施</p> <p>(天竜川水系における取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の日一斉清掃…諏訪湖 ・環境ピクニック…南信州流域3地区 ・ウェルカメクリーン作戦…河口及び遠州灘 	<p>天竜川上流から河口にかけてのごみの現状や上流域の取組の重要性を啓発する広報ツールや学習教材の作成・発信</p>	<p>広報ツールについては、新規作成予定の信州プラスチックスマート運動の啓発チラシにおいて、「クリーン信州 for ザ・ブルー」等の上流域における本県の取組等を掲載します。</p> <p>学習教材については、海洋汚染を題材としたDVD教材を購入し、環境フェアでの上映を予定しています。</p>	環境部

地域 振興局	現行事業名	現行事業の概要	意見・要望の内容	部局の主な対応	担当 部局
南信州	県単独森林整備事業(間伐対策事業)	<p>国庫補助の対象とならない竹林整備への支援 補助率:1/2</p>	<p>補助率の嵩上げ ・1/2を7/10に嵩上げ</p> <p>(理由) 整備に必要な竹林が多いが、自己負担が大きいため。</p>	<p>国庫補助の場合は森林経営計画の策定、森林税事業の場合は里山整備方針における優先整備個所であることなど、事前の計画性等を要件としています。</p> <p>当該事業はその対象とはならないものの、一定の森林整備が実施されたものを対象とすることから、補助率については低く設定しているところです。</p>	林務部
松本	松くい虫枯損木利活用事業	<p>山林に放置され、有効活用されていない松くい虫枯損木を木質バイオマス発電燃料(チップ)に資源化して利活用する取組等を支援する。</p> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害対象森林の調査 ・伐倒・搬出集積 ・森林作業道整備 ・伐倒木のチップ加工 ・発電所等へのチップ等の運搬 	<p>各地で景観上課題となっている枯損したアカマツを木質バイオマス燃料として有効活用が図られるよう「松くい虫枯損木利活用事業」の予算を拡大する。</p>	<p>松くい虫枯損木利活用事業については、森林病虫害被害枯損木利活用(チップ化)事業として増額したうえで予算要求しています。</p> <p>(R2当初:18,000千円→R3:100,000千円)</p>	林務部

地域 振興局	現行事業名	現行事業の概要	意見・要望の内容	部局の主な対応	担当 部局
長野	楽園信州(移住ポータルサイト)の更なる利便性の向上 ～移住だけではなく、体験・交流情報を併せ持つポータルサイトへ～	<p>楽園信州(長野県移住ポータルサイト)は、長野県への移住・定住に関する情報が一元的に掲載されており、移住・定住を推進する重要ツールとなっているが、以下の課題がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 テレワークやワーケーション情報に関する情報がない 2 「体験・交流」に焦点を当てた情報がない 3 長野県 10 地域のコアな魅力情報を発信している「長野県魅力発信ブログ」とリンクされていない 4 移住(希望)者に対する各種支援情報が一元化されていない (「支援制度」、「楽園信州ファミリー」という二つの項目で情報が分散されている) 	<p>コロナ禍による社会状況の変化を踏まえ、オンライン上でより詳細な情報を分かりやすく提供できる仕組みづくりを行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① テレワークやワーケーション情報の追加 ・別サイトで提供している「信州リゾートテレワーク対応施設マップ」、「信州リゾートテレワーク対応宿泊施設リスト」を、ポータルサイトから情報入手できるよう改善し、利便性向上を図る。 ② 「体験・交流」に焦点を当てた情報の追加 ・「体験・交流」の項目を新規作成し、「学生等が合宿できる温泉旅館」、「長野県ならではの体験・交流」ができるイベント情報(山登り・川くだり・果物狩り等)などを発信できるようにする。 ③ 長野県 10 地域の魅力発信 HP へのリンク追加 ・各地域の「長野県魅力発信ブログ」へリンクを繋げる。 ④ 各種支援情報の一元化 ・支援情報を一つの項目にまとめるなど、一元化した情報提供を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 令和2年9月補正予算で構築中の二地域居住検討者向けのコンテンツを備えたサイト、クリエイティブ人材に向けたプロモーションの中で、県内のテレワークに関する情報を発信していく予定です。 ②～④ 楽園信州ホームページを今年度改修予定であり、提案の趣旨を極力反映できるように検討します。 	企画振興部

地域 振興局	現行事業名	現行事業の概要	意見・要望の内容	部局の主な対応	担当 部局
北信	鳥獣捕獲許可の移譲	ツキノワグマの捕獲許可は、過去（H14 まで）には市町村に権限が移譲されていたが、H14 年4月にツキノワグマの第二種特定鳥獣保護管理計画が策定され、県において頭数管理を行う必要があることから、市町村に緊急捕獲の権限を残し、県（地域振興局長）に権限が引き上げられている。	地域の住民が通常生活する区域における、人身被害の回避を目的としたツキノワグマの捕獲許可権限の市町村長への移譲。 (理由) 市街地に出没したツキノワグマに対しては、迅速に対応するため市町村が緊急対応を行っているが、あくまでも差し迫った危険を回避するためのものであり、それに引き続き行われる罠による捕獲などは県（地域振興局長）許可となる。これを地域の状況を把握している市町村長許可とすることで一体的な処理とすることができるため	緊急的に住民の迅速な安全確保を図るための捕獲許可は、特例処理として市町村長に権限を既に委譲しています。 その後の捕獲に関しては、広域的な視点も踏まえて総合的に判断する必要があることから、市町村と対策を調整しながら、現行どおり県が捕獲許可を行うべきものと考えます。	林務部
北信	森林づくり県民税活用事業 (みんなで支える里山整備事業)	「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して優先的に整備が必要な箇所の間伐の推進とライフラインへの倒木の恐れがある危険木、枯損木の処理を支援。 (主な要件) ・補助率 9/10 ・事業主体 市町村、森林組合、NPO法人、森林所有者の団体等	保安林で実施する場合の補助率を 10/10 以内に拡充 (理由) 保安林で実施する間伐や枯損木の処理について、所有者の経費負担を無くすことにより、防災・減災の点から里山整備を推進するため	防災・減災のための森林整備の一部を県発注事業として実施することを検討しています。 ・防災・減災対策緊急治山事業 35,500 千円	林務部

■ 事業対象の拡大を図る意見等

地域 振興局	現行事業名	現行事業の概要	意見・要望の内容	部局の主な対応	担当 部局
南信州	みんなで支える里山整備事業(防災・減災のための森林整備) (森林づくり県民税活用事業)	「竹林整備」は間伐等の付帯事業として補助 (参考) 現行の事業内容 1 保育間伐 2 間伐(搬出) 3 森林作業道開設 4 作業路開設 5 付帯事業 ※3、4は2と、5は1、2と一体的に行うものに限る。	間伐の付帯事業である「竹林整備」を、単独で実施できるように要件を緩和 (理由) ・整備されずに放置された竹林は根系も脆弱になり、喬木村などでは令和2年7月豪雨の際に土砂災害の発生源となっている。 ・防災・減災上整備の必要な竹林(針葉樹人工林に隣接していない竹林)が多く、整備を求める地域の要望が多いため。	竹林は整備した効果が維持されるよう持続的な管理を含めた取組が必要です。このため、その確認方法等を含め対応を検討します。なお、里山整備利用地域については、「県民協働による里山整備」により対応します。	林務部
南信州	みんなで支える里山整備事業(県民協働による里山整備) (森林づくり県民税活用事業)	竹林を整備する場合に「不用竹の除去(抜き切り)」として補助	・他の樹種に転換するための「竹林伐採」の追加 ・合わせて、伐採竹の搬出経費や搬出するための作業路開設、伐採竹の破砕経費、破砕機レンタル経費等も補助対象化 (理由) ・竹林は、整備(抜き切り)後も毎年手入れをしないと荒廃してしまうなど、その維持管理に非常に手間が掛かる。このため、防災・減災上や景観上で適した広葉樹林等に転換したい地域の要望は多いが、広葉樹等を植栽する前段の竹林伐採に対する支援措置が無く、樹種転換が進んでいない。	県民協働による里山整備については、地域住民主体で課題解決や森林の利活用に取り組むための事業であり、その必要性において補助金の対象となるとの考えです。 このことから、目的や必要性が明らかであれば、竹を他の樹種に転換するための伐採費や破砕経費等も計上可能です。 なお、整備後は効果が維持されるよう継続的な管理を含めた取組が必要です。	林務部

地域 振興局	現行事業名	現行事業の概要	意見・要望の内容	部局の主な対応	担当 部局
北アルプ ス	民間との協働による 山岳環境保全事業	登山道等の整備に係る補助 ・市町村:事業費の1/2以内 ・山小屋関係団体:資材費の10/10 以内	・山小屋関係団体への補助について、登山道 整備に要する人件費を対象に追加	山小屋関係団体が行う登山道の整 備等については、事業内容を拡充し て要求しています。	環境部
北アルプ ス	登山道災害復旧早 期支援事業	登山道等の整備に係る補助 ・市町村:事業費の3/4以内 ・山小屋関係団体:資材費の10/10 以内	山小屋関係団体への補助について、登山道 整備に要する人件費を対象に追加 (理由) 近年、登山道の整備を山小屋関係者のみで は賄いきれず、別途雇用が必要となっている ため	今後の実績等を踏まえ、検討して いきます。	環境部
北信	鳥獣被害防止総合 対策交付金	野生鳥獣による農作物被害防止を 図るため、集落ぐるみで総合的に防 除等の対策をとる取組を支援。 (主な要件) ・侵入防止柵の整備や捕獲機材 (わなや檻等)の導入等の支援 ・「集落等捕獲隊」の設置支援 ・有害捕獲に係る捕獲活動経費や 埋設、運搬等の経費を支援 ・事業主体:市町村地域協議会等 ・補助率:1/2以内、定額	◇事業メニューの追加 ・ジビエ活用に係る経費の補助 ・わなや檻の見回りを省力化するお知らせセ ンサーの設置費用を支援 (理由) 捕獲者(猟友会員)の高齢化が著しく捕獲が 進んでいないが、ジビエでの活用等を充実す ることにより捕獲を進める必要があるため 高齢化によりわなの見回り等も難しいため、 センサー等の導入促進により見回り等の負担 を軽減する必要があるため	提案の事業メニューについては、現 行の「鳥獣被害防止総合対策交付 金」の「ICT等新技术実証」及び「ジビ エ等の利用拡大に向けた地域の取 組」で対応が可能です。	農政部

地域 振興局	現行事業名	現行事業の概要	意見・要望の内容	部局の主な対応	担当 部局
北信	信州農業生産力強化対策事業	<p>革新的技術の現地への普及やマーケットニーズに対応した産地の育成等に必要な機械・施設の導入等を支援。</p> <p>(主な要件) 革新的新技術導入モデル事業のマーケットニーズ対応産地支援事業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率 1/2 以内(上限 250 万円) ・事業主体 市町村、JA, 農業者が組織する団体、県域農業団体等 	<p>◇事業対象メニューの追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モモせん孔細菌病対策の防風ネット等の導入支援策 ・農業機械電動化推進のため、電動SS(薬剤噴霧機)等の導入支援策 <p>(理由) もも産地にとってはモモせん孔細菌病の防除が重要課題となっているため さらに、「2050 ゼロカーボンへの決意」を具現化するため</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防風ネット等の導入支援については、「果樹経営対策支援事業」の中で対応します。 ・電動SS等の導入支援については、「強い農業・担い手づくり総合支援交付金(先進的農業確立支援タイプ)」、「産地生産基盤パワーアップ事業」(面的取組が見込める場合)、の中で対応します。 	農政部
北信	スマート農業導入加速化事業	<p>AI・ICT等を活用したスマート農業技術を加速的に普及し、生産現場の省力化と生産性向上を図る取組を支援。</p> <p>(現行内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田、園芸、畜産においてスマート農業の実証(機器を生産者へ貸与し効果実証を行う)を実施 	<p>◇事業対象メニューの追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アシストスーツ等のリース支援策 ・農業機械電動化のための官学民連携の実証事業への協力 <p>(理由) 農業従事者の高齢化が進む中で、アシストスーツ等先端のICTの利用により、スマート農業の普及を進めるため 農業機械電動化の実証はメーカー主導で行われているが、県としても大学や研究機関とも連携して普及を進めるため さらに、「2050 ゼロカーボンへの決意」を具現化するため</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アシストスーツのリース支援については、年間負担額が少ないことから事業者負担が適当と考えます。なお、高額な機器の場合は、「産地生産基盤パワーアップ事業」の中で対応します。 ・農業機械電動化については、現在、民間企業で開発を始めているところと承知しています。今後、社会実装に向け現地実証を行う場合には、県としても協力する方向で検討していきます。 	農政部